

第1回



NIE土曜サロン開店

読売新聞東京本社（東京・大手町）9階会議室にて



NIE実践教諭らが集い、知恵を出し合った第1回NIE土曜サロン（本社9階会議室で）

新聞を授業で活用するNIE（教育に新聞を）について意見交換し、教え方の質向上を図るNIE土曜サロンが1月26日、東京・大手町の読売新聞東京本社9階会議室で開かれ、小中高校の教諭ら17人が現状を報告し、課題解決に向けて知恵を出し合った。

サロンは、従来の講演会やセミナーとは異なり、参加者が持ち寄った実践例を紹介したり、記者の取材談を聞いたり、「息抜き」と「充電」の場をめざし開かれた。意見交換を通じて、各自が抱える問題の解決につながるヒントを得ていく。

参加者全員が自己紹介を兼ねてNIEの取り組みを話す中で、新任教諭が小学1年生のNIE授業について模索している様子を報告すると、ベテラン教諭がアドバイス。

昨春、本社NIE事務局員に転身するまで約20年間東京都内の公立中学校国語科教諭としてNIEを実践してきた鹿野川喜代美NIE企画デザイナーが、正月の紙面を使って「笑い」をテーマにした授業例を披露すると、学校へ持ち帰って実践してみよう、という声が上がった。

中高一貫の都立桜修館中等教育学校教諭は、新聞の投書欄を利用した実践例（学習指導案）を紹介した。

次回は2月23日午後2時から開かれる。